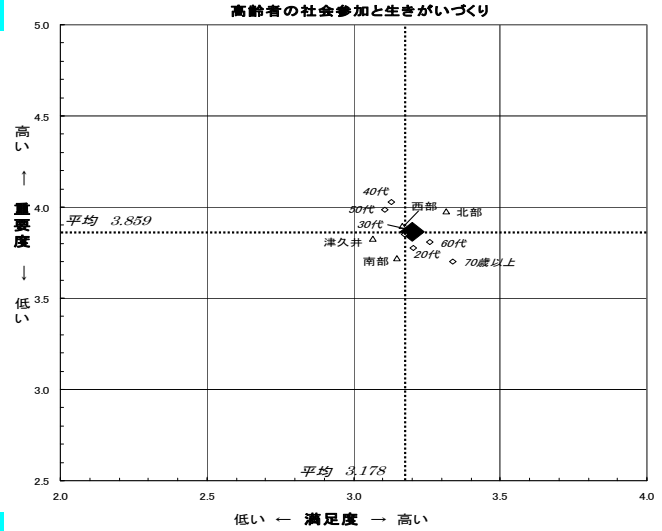




#### 4 市民満足度調査結果(平成20年度実施分)

○この施策の満足度は3.200で121施策の中で44番目。  
 ○重要度は3.863で61番目である。  
 ○改善要望度は-0.0126で62番目である。  
 ○年齢別にみると、満足度は70歳以上で最も高く、50代で最も低くなっている。重要度は40代で最も高く、70歳以上で最も低くなっている。  
 ○地区別にみると、満足度は北部で最も高く、津久井で最も低くなっている。重要度は北部で最も高く、南部で最も低くなっている。



#### 5 1次評価(2つの視点から評価を行う)

視点の種類	評価基準・着眼点	評価点	H18評価点	前回(H18)評価結果との比較分析
有効性	各事業が果たす施策に対する目標の達成度合いを把握し、効果の高い事業を実施している	4(2)1	4(2)1	老人福祉センターの運営や高齢者大学の開設、シルバー人材センターへの支援は、高齢者の社会参加や生きがいづくりの推進事業として、かなり有効であり、介護予防の観点からも大きな成果となっている。指標1と3において、それぞれ目標値の94%、87%となっているため、評価点は2とした。
市民満足度	市民満足度調査により市民ニーズを把握し、市民の立場に立って事業展開している	4(2)1	4(2)1	前回評価は平均値としての満足度が低く、重要度が高かったが、今回は満足度、重要度ともに平均値以上であったことから、市民の立場に立った事業展開が図られていると考えられる。今後も市民ニーズの把握に努めていきたい。
合計		6		評価結果に基づく区分(2項目の合計点数による) A(6点以上) B(5点・4点) C(3点以下)
				1次評価 A

\*Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

#### 6 課題と解決策(現状または、評価結果から)

課題	高齢化が進む中で、高齢者が地域社会でいきいきと自立した生活ができるよう支援していくこととともに、社会を支える一員として、自身の経験や知識を生かした社会貢献活動の機会を広げていく必要がある。
解決策	高齢者が地域社会に根ざした社会貢献活動をおこなうために必要な情報をホームページ等で提供し、また、活動を推進するためのコーディネーターの育成事業を行う。

#### 7 2次評価及び意見(1次、2次で評価に相違がある場合など、必要に応じて意見を記入)

	2次評価 A
--	-----------

\*Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

#### 8 3次評価及び意見(評価結果及び課題・解決策について、必要に応じて意見を記入)

	3次評価 A
--	-----------

\*Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

